

認知症に関する活動計画（概要）

新潟県作業療法士会では、認知症初期集中支援チーム、認知症予防事業、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座などに参加している。市町村、地域包括支援センターなどから依頼を受けサポーター養成講座、認知症カフェなどを中心に活動を行なっている。各施設・事業所、個人への依頼が多く、正確な実施数の把握はできない。

現在県内を7ブロック、41支部に分け各担当者を配置し情報収集に努めている。活動報告では、地域ケア会議をはじめ、通いの場への派遣等の報告数は年々増加傾向にあるが、認知症事業に関しては、報告のある市町村が固定されている状況である。

2022度は、コロナ禍で当事者を支援する家族様の声を聴く機会が減少していることやOT以外の認知症支援にどのような方法があるのか学ぶため、認知症の人と家族の会の新潟支部へ講演依頼し、研修会を実施した。参加者からは「当事者の声が聴けてよかった」との意見が多く聞かれた。2023年度では、引き続き、認知症の人と家族の会へ研修会講師をお願いし研修会の開催を予定している。また、つどいへ会員を派遣し、当事者の支援を行うことを計画し、認知症支援について他団体と協働し県内での職域拡大を目指している。

認知症の人と家族の会との連携事業

①研修会について

2022年度から認知症の人と家族の会へ講師依頼を行い研修会を開催している。新潟県は各市町村に支部長を配置し、市町村によって温度差はあるものの地域事業を展開できている。しかし、認知症支援についての活動報告数は伸び悩んでいる状況である。そこで、研修会企画会議の中で、「共生社会実現に向け、今、認知症支援でOTに求められていることはなにか？」と議題が挙げられた。その答えに繋がるような研修会を企画するためには多方面からの意見が必要となり、今回は、当事者に近い立場の認知症の人と家族の会とOTとして認知症支援で活躍されている山口先生を講師にお招きし企画した。

開催方法としては、多くの会員へ参加いただくことを目的に集合型とWEB配信型のハイブリット開催とした。開催日は11月であるため、より良い研修会となるよう準備を進めていく。

（右記資料：研修会案内）

②つどい支援について

昨年度に研修会講師を依頼した際に、つどいで当事者の支援を行っていただきたいとの依頼を受け、今年度の事業計画して立案した。現在、上越地区の「若年性認知症の人と家族のつどい（右記資料）」において、当事者の方とレクリエーションや座談会に参加する依頼が届いている。士会からは3名を派遣する予定である。また新潟地区へも会員を派遣予定である。今年度については、新潟県士会では初の試みであるため、視察や体験を目的に参加し、定期的な会員派遣に繋がるよう、OTをアピールしていきたいと考えている。

今後の展望について

- ・ 認知症の人と家族の会との連携促進（つどいの支援・研修会講師依頼 等）
- ・ 認知症事業に関わる会員の促進と支援（会員へ認知症事業の伝達・研修会開催 等）
- ・ 世界アルツハイマーデーでの啓蒙活動（会員へ認知症支援や啓蒙活動の紹介 等）